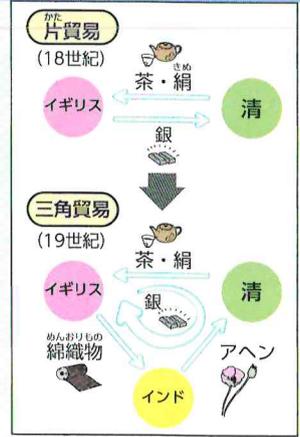




↑1 アヘン戦争 イギリス船と清の船による海戦の様子です。[東京都(公財)東洋文庫蔵]



↑2 イギリスと清の貿易の変化

攻撃を受けている船は、イギリス船と清の船のどちらなのかな。



1

日本を取り巻く世界情勢の変化



学習課題

欧米諸国の来航は、東アジアにどのような影響を与えたのだろうか。

外国船の来航と幕府の対応

18世紀末から、日本の沿岸には、ロシアやイギリス・アメリカなどの外国船が頻りに現れるようになりました。なかでもロシアの使節は、1792年と1804年に漂流民を伴って来航し、通商を求めました。幕府はロシアとの通商を断る一方で、間宮林蔵らに蝦夷地やその北方の調査を行わせ、蝦夷地を幕領にして、ロシアの南下に備えました。

また、幕府は1825年に異国船打払令を出して外国船を追い払う方針を示し、この方針を批判した高野長英や渡辺崋山らの蘭学者たちを1839年に処罰しました(蛮社の獄)。幕府は武力によって日本国内の平和を維持していたため、諸外国からの要求などに対して強い姿勢を見せなければなりませんでした。

アヘン戦争

イギリスは18世紀から朝貢の形式をとって清との貿易を開始し、清は広州1港でヨーロッパとの貿易を管理しました。イギリスは清から茶などを輸入し、代金を銀で支払いました。19世紀に入り、清へ支払う銀が不足すると、イギリスはインドへ綿織物などの工業製品を輸出し、インド産のアヘンを清へ密輸して、逆に利益を得るようになりました(三角貿易)。

異国船打払令(1825年)

どこの港でも、外国船が入港するのをみたなら、有無を言わず、いちずに打ち払え。逃がしたら追う必要はない。もし強引に上陸したら、捕まえるか、または打ち殺しても構わない。

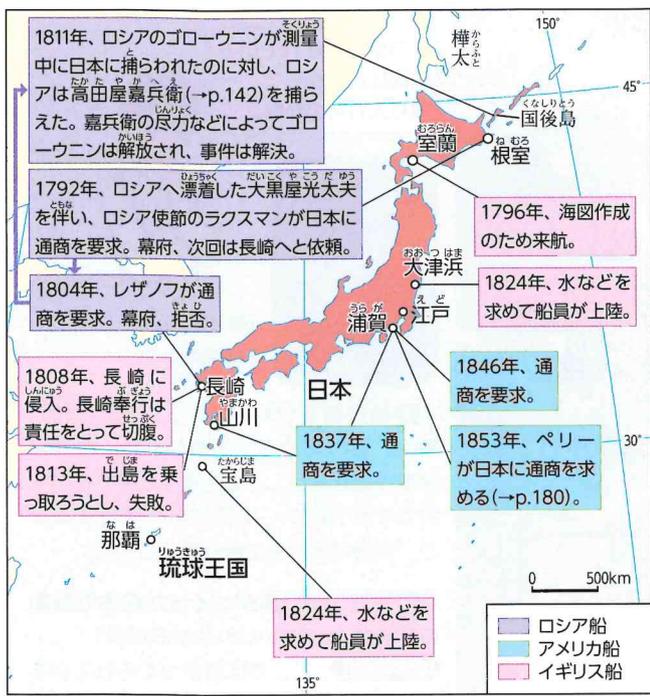
【徳川禁令考】より、一部要約

天保の薪水給与令(1842年)

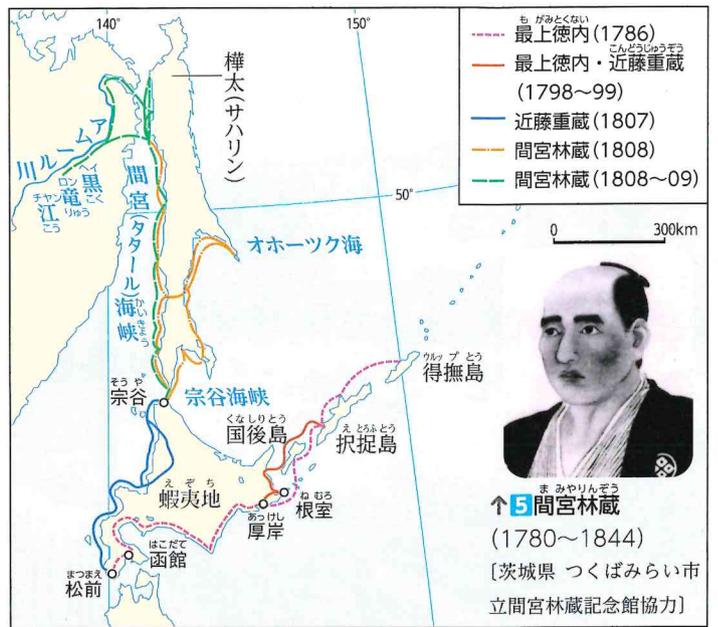
外国船が難破して漂流し、薪や水、食料を求めてきたとき、事情を考えず、いちずに打ち払っては失礼なので、よく様子を見て必要な品を与え、帰るように言い聞かせよ。ただし上陸させてはならない。

【徳川禁令考】より、一部要約

資料活用 外国船への対応について、どのように変化しているだろうか。



↑3 外国船の来航



↑4 北方の調査 ロシアを警戒した幕府は、北方に調査隊を派遣し、蝦夷地を幕領としました。樺太を探検した間宮林蔵は、伊能忠敬(→p.153)から測量術を学び、樺太が島であることを確認しました。 **地図帳活用**

清はアヘン中毒患者の増加とその代金となる銀の不足に苦しんだため、アヘンの売買を禁止しました。これに対してイギリスは、1840年、自由貿易の実現を口実にして清に艦隊を派遣し、攻撃しました(アヘン戦争)。戦争に勝利したイギリスは、清と南京条約を結び、香港島やばく大な賠償金を手に入れました。加えて条約では、広州のほか上海など5港の開港と、そこでのイギリス人の自由な商業活動を認めさせ、開港地に滞在するイギリス人を自国の法律で裁く権利を確保しました。これ以後、清はほかの欧米諸国とも同様の条約を結ばされ、開港地での自由な商業活動を認めていきました。

① 麻薬の一種で、痛み止めなどの効能がある反面、乱用すると中毒を引き起こし、心身をむしばみました。

高杉晋作
1839~67

上海に渡った
長州藩士

長州(山口県)藩士の高杉晋作は、1862年、藩の命令で上海に渡り、アヘン戦争後の上海の一部が外国人に支配されている様子を見ました(→p.173E1)。高杉は、「日本も攘夷を行い、そのうえで外国の進んだ文明を取り入れ、強い国をつくらなければ」と考え、帰国後、外国の侵略に備えるために奇兵隊という軍隊をつくりました。奇兵隊は武士、百姓などの身分にかかわらず構成されました。

アヘン戦争と日本への影響 オランダや清から海外情報を得ていた幕府は、大国の清がイギリスに敗北したことに大きな衝撃を受けました。さらにイギリス艦隊が来日を計画しているという情報も届き、欧米諸国との衝突を避けるため、異国船打払令を緩め、1842(天保13)年に薪水給与令を出しました。1844年、オランダは幕府に開国を勧めましたが、新たな国と外交や貿易を行うことはこれまでの方針に反するとして、幕府は拒否しました。一方、このころから、国内の知識人のなかで、日本の将来を活発に議論し、外国の侵略に備えるため、軍事をはじめとする西洋の技術や学問を積極的に学ぼうとする動きが広がりました。

南京条約で決められたことを本確認しよう

アヘン戦争の状況が、幕府の政策にどのような影響を与えたか、説明しよう

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土桃山
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和



この絵に描かれている技術はどこから取り入れたのかな。



【佐賀県（公財）鍋島報効会蔵】

↑1 鍋島直正(1814~71) 佐賀(肥前)藩主。藩の財政を立て直した後、西洋の軍事技術を研究し、反射炉(高温で金属を溶かす炉)をつくり蒸気船を建造するなど、技術の実用化に取り組みました。

←2 佐賀(肥前)藩がつくった日本で最初の反射炉【佐賀県（公財）鍋島報効会蔵】

【資料活用】 ここでは何がつくられているだろうか。

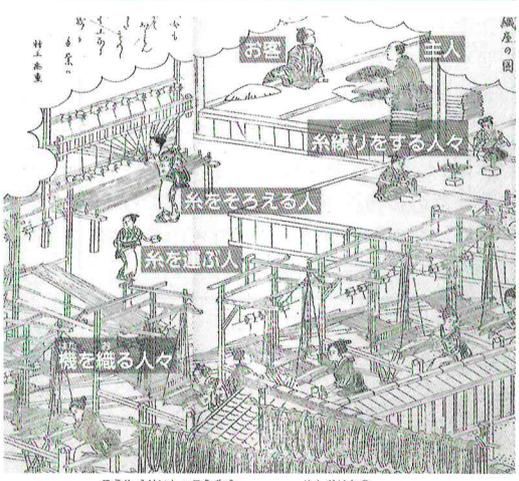
2

諸藩の改革と幕府の衰退

2節の問い 欧米諸国が来航するなかで、日本の社会はどのように変化したのだろうか。

解説 専売制

特定の物品(商品)について、生産から流通、販売に至るまでの過程すべてを管理下に置き、そこから得られる利益を独占する制度です。



↑3 工場制手工業による綿織物の生産【尾張名所図会】東京都 国立公文書館蔵

【資料活用】 問屋制家内工業(→p.147)と比べて、働く人と場所はどのように変化しただろうか。



学習課題

幕府が衰退したのは、どのような要因があったのだろうか。

諸藩の改革

19世紀になると、大地主や都市の大商人の中には、全国に流通するようになった綿織物や絹織物などの

商品に注目する者が出てきました。そして、農村から来た働き手を自分の作業所(工場)に集め、製品を分業で大量に仕上げる新しい生産のしくみが生まれました。これを工場制手工業といいます。

たび重なる飢きんで年貢の収入が減少し、財政の悪化に苦しむ諸藩も、商品や特産物の販売による利益に着目しました。工場制手工業を後押ししてその生産力を高め、専売制などを行って他地域への販売を強化しました。さらに、商人からの藩の借金を棚上げにするなどの手段もとり、財政を立て直すための改革に努めました。

薩摩藩(鹿児島県)では砂糖の専売などを行い、長州藩(山口県)では海運を盛んにして利益を上げました。また、薩摩藩や長州藩では、有能な下級武士を登用して改革を進めました。佐賀(肥前)藩では、農村の立て直しに成功し、陶磁器の専売で得た利益で西洋の軍事技術の研究を行いました。改革に成功したこれらの藩は、幕末には幕府に対抗するほどの力をつけ、また、新しい商人の登場や工場制手工業のしくみは、日本で近代産業が発達する基盤になりました。



←5 河井継之助(1827~68)
長岡藩家老。財政の再建を行
い、ライフル銃を導入する
など西洋式の軍制を取り入
れ、藩の改革を進めました。



↑6 山田方谷(1805
~77) 農民出身な
がら備中松山藩に登
用されると、俵約や
特産物の生産に加え、
農兵の創設なども行
いました。[岡山県 個
人蔵]



[山口県 村田清
風記念館蔵]



←8 村田清風(1783~1855)
長州藩家老。借金を整理し、
紙やろうの専売制を改革し、
下関での海運を盛んにして藩
の財政を立て直しました。



↑7 徳川斉昭(1800
~60) 水戸藩主。
藩校をつくり有能な
人材を登用しました。
西洋式の軍制を取り
入れて、海防の強化
も行いました。[茨城
県 徳川ミュージアム蔵]

未来に向けて **渋染一揆** 人権・多文化

1855年、岡山藩は藩政改革を進めるため、29か条の俵約令を出しました。このうち最後の5か条は、えた身分(→p.137)の人々を対象とし、衣類を新調する際には柄のない渋染(茶色)か藍染(青色)に限る、などと記されていました。これに対し、えた身分の人々は、自分たちも田畑を耕し、年貢を納めている百姓であると主張し、別扱いしないでほしいと藩に嘆願しました。それが拒否されると立ち上がって一揆を起こし、5か条を実質上撤回させて勝利を得ました。えた身分の人々による一揆では最も規模が大きい戦いでした。

↑4 幕末に向かう諸藩の改革

大塩平八郎の乱

1830年代には、好景気に隠れていた社会の矛盾が噴き出しました。天保の飢きんによる米不足と商人の買い占めで米の値段が跳ね上がり、各地で一揆や打ちこわしが続発しました。大阪町奉行所の元役人であった大塩平八郎

5 は、人々の苦しむ姿を見かねて、1837年に乱を起こしました(大塩平八郎の乱)。乱は1日で鎮圧されましたが、幕領の大阪で幕府の元役人による反乱が起きたことに、幕府は強い衝撃を受けました。

水野忠邦の政治

1841(天保12)年、老中の水野忠邦は、こうした社会の動揺と外国船の来航に対応するため、享保・寛

10 政の改革を参考に、社会の安定化と幕府の強化を目指して改革を始めました(天保の改革)。まず忠邦は、物価の上昇は株仲間が商品の

流通を独占しているためと考え、株仲間を解散させました。また、風紀を正すために出版を統制し、ぜいたくを禁じました。そして、年貢の確保のため、江戸に出ている農民を村へ帰らせました。さらに、

15 江戸や大阪周辺の大名領などを幕領にしようとしました。外国に対しては薪水給与令を出すなどして対応しようとしました。忠邦が進めた天保の改革は、大商人を抑え、農村を立て直し、外国への備えを積極的に行おうとするものでした。しかし性急な改革は、力をつけてきた大名や商人などから反発を受け、2年余りで失敗しました。

未来に向けて **稲むらの火** 防災

幕末には、日本各地で大地震が起きました。1854年の安政南海大地震のとき、紀州広村(現在の和歌山県広川町)の商人濱口梧陵は、知識や経験から、地震による津波に襲われながらも、稲の束(稲むら)に火をつけて村人を避難させ、被害を最小限に抑えました。その後も彼は、堤防の建設など地域の防災に取り組みました。

→9 人々を避難させる濱口梧陵(1820~85)の像(和歌山県広川町)

確認しよう

改革に成功した主な藩の名称と、このころ幕府が行った改革の名称を、本文から書き出そう。

説明しよう

改革に成功した藩の政策に共通している点と、幕府の改革が失敗した理由を説明しよう。

| |
|---------|
| 縄文 |
| 3C |
| 1 弥生 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 古墳 |
| 6 |
| 7 飛鳥 |
| 8 奈良 |
| 9 |
| 10 平安 |
| 11 |
| 12 |
| 13 鎌倉 |
| 14 南北朝 |
| 15 室町 |
| 16 戦国 |
| 17 安土桃山 |
| 18 江戸 |
| 19 明治 |
| 大正 |
| 20 昭和 |
| 平成 |
| 21 令和 |

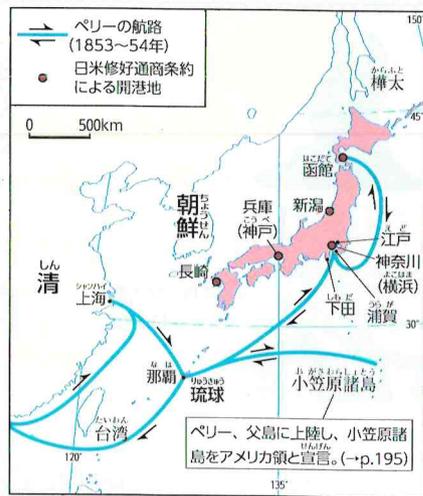
くるみわらいごう 黒船来航をうたった狂歌

たいへい ねむり け せい せい せい せい
 泰平の眠気を覚ます上喜撰
 たった四杯で夜も寝られず
 ※当時の茶の銘柄であるが、「蒸気船」と意味をかけている。



[神奈川県 横浜市中心図書館蔵]

↑ 浦賀沖に現れたペリーの艦隊 1853年に来航したペリー艦隊4隻のうち、2隻は蒸気船でした。蒸気船はそれまでの季節風を利用した帆船と違い、いつでも航海できました。 **小地公**



↑2 ペリーの来航と日米修好通商条約による開港地



黒船を見た当時の人々は、どのように思ったのかな。

3

黒船来航の衝撃と開国

2節の問い 欧米諸国が来航するなかで、日本の社会はどのように変化したのだろうか。

小地公



↑3 からわ版に描かれたペリー(左)[新潟県一般財団法人 黒船館蔵]と4 ペリーの肖像画(右)



学習課題

開国は、日本の社会にどのような影響を与えたのだろうか。

アメリカ船の来航と開国

19世紀半ばに太平洋側まで領土を広げたアメリカは、清や日本との貿易を望むようになりました。また、捕鯨船の航海で水や食料などを補給するため、日本の港を利用したいと考えていました。1853年、アメリカの東インド艦隊司令長官ペリーは浦賀(神奈川県)に軍艦4隻で来航し、開国を求める大統領の国書を差し出しました。幕府はオランダからの情報で事前に来航を知っていましたが、軍艦の威力に押され、国書を受け取りました。幕府は初めて諸大名や下級の幕臣などに幅広く意見を求め、朝廷にも報告しました。天保の改革の失敗に加え、これまでにない対応をしたことで、幕府の威信は大きく揺らぎました。幕府は食料・薪・水などの給与と漂流民の保護に限って開国することとし、翌54年、回答を求め再び来航したペリーと日米和親条約を結び、下田(静岡県)と函館(北海道)の2港を順次開くことにしました。

さらにアメリカは、幕府に対して貿易の自由化を強く要求しました。その結果、幕府の大老井伊直弼は1858(安政5)年に日米修好通商条約を結び、函館・神奈川(横浜)・長崎・新潟・兵庫(神戸)の5港を貿易港として順次開くことや、外国人居留地での自由な商業活動を認めました。この条約には、関税自主権がなく領事裁判権を

地域史 函館と那覇のペリー来航

ペリーが日本へ派遣された理由は、アメリカで産業革命が進み、紡績製品の清への販売を目指したため、また、当時盛んだった捕鯨船の活動地が日本近海に及んでいたためです。ペリーは、補給などに適した下田と函館の開港を求め、函館には視察に訪れました。さらに琉球を独立国とみなし、重要な拠点になるとして5回来航し、1854年には米琉修好条約も締結しましたが、やがて無効となりました(→p.196)。

にちべい わ しんじょうやく
日米和親条約(1854年)

第2条 伊豆の下田、松前の函館の両港は、アメリカ船が新や水、食料、石炭など不足している品を日本で調達するときに限って渡来することを、日本政府は許可する。

第9条 日本政府は、現在アメリカ人に許可していないことをほかの外国人に許可するときは、アメリカ人にも同様に許可する。

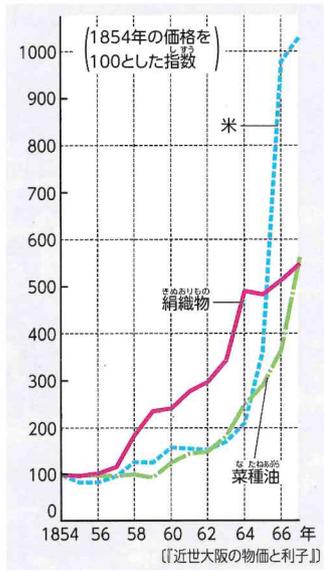
〔一部要約・抜粋〕

にちべいしゅうこうつうしょうじょうやく
日米修好通商条約(1858年)

第4条 すべて日本に対する輸出入の品々には、別記のとおり日本の役所へ関税を納めること。

第6条 日本人に対して法を犯したアメリカ人は、アメリカ領事裁判所で調べたうえ、アメリカの法律で罰する。アメリカ人に対して法を犯した日本人は、日本の役人が調べたうえで、日本の法律で罰する。

〔一部要約・抜粋〕



↑開港後の物価の変化
資料活用 開港後、米の価格はおよそ何倍になっただろうか。

おおさうらけい
大浦慶

1828~84

開国で商機をつかんだ
 長崎の女性商人

長崎の油商人の家に生まれ、実質的な店主となりました。開国によって長崎でも貿易が自由に行われると、慶は世界での茶の需要に気づき、オランダやイギリスの商人とともに、佐賀の嬉野茶など、日本茶を海外に輸出し、多くの利益を得ました。晩年には、女性が茶の輸出を推進した功績を認められ、明治政府から功労賞を授与されました。激動の時代に世界の流れを読んだ、新しい商人の姿をみることができます。

解説 関税自主権と領事裁判権

自国の輸出入品に対し、自国で関税の率を決めることができる権利を、関税自主権といいます。関税自主権がない状態とは、条約などを結んだ結果、関税の率を変える際に、相手国の同意が必要になることをいいます。

また、自国民が外国に滞在している間に罪を犯した際、罪を犯した国の法ではなく、自国の法で領事が裁判できる権利を、領事裁判権といいます。

いずれも、産業や海外貿易で優位に立つ欧米諸国に有利な条件となります。

① オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも、ほぼ同じ内容の条約を結びました。

よしだしょういん
吉田松陰

1830~59

明治維新で活躍する
 人物を育てた思想家

長州藩(山口県)出身の思想家で、尊王の考えと外国への強い関心をもっていました。高杉晋作(→p.177)など、明治維新で活躍する人物を教育しましたが、幕府の政治を批判したため、処刑されました。

日本とアメリカで結ばれた条約とその内容を、本文から書き出そう。

確認しよう

開国が社会に及ぼした影響を、政治と経済の面から説明しよう。

説明しよう

認めるなど、日本にとって不平等な側面があり、明治時代になって大きな外交問題となりました。一方で、日本側は国内の経済活動を保護しようと、外国人の活動する地域を居留地近くに制限しました。

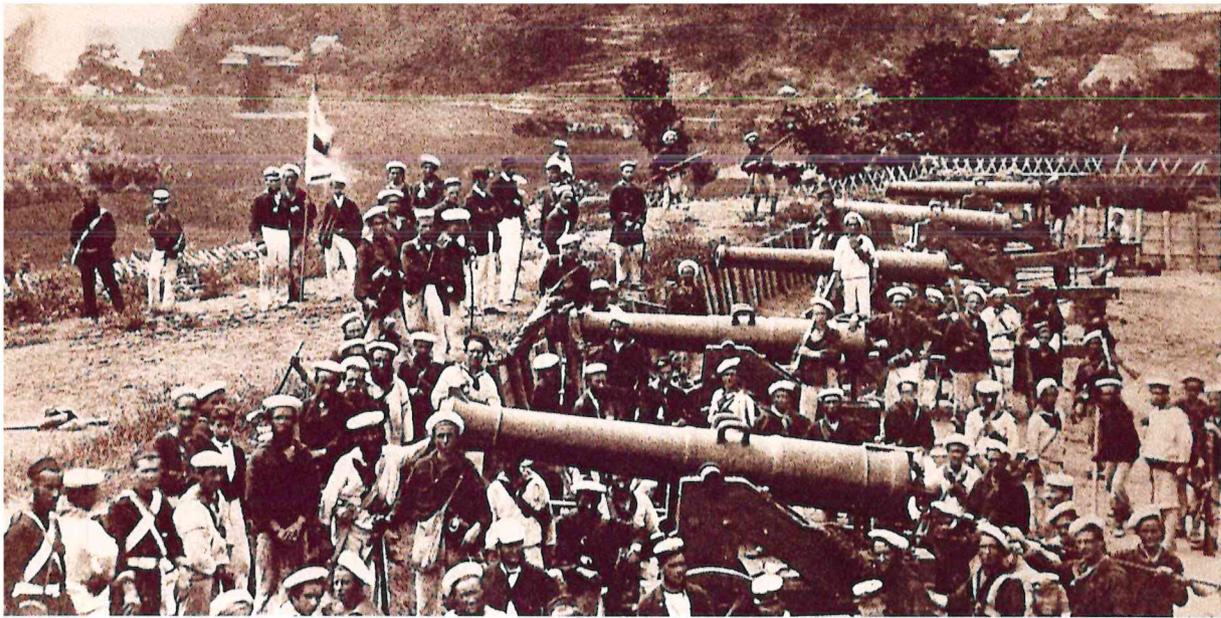
貿易の拡大とその影響

欧米諸国との貿易が始まると、大量生産された安い綿糸や綿織物が日本に輸入され、国内の生産地は打撃を受けました。日本からは主に生糸・蚕種(蚕の卵)や茶が盛んに輸出され、国内で品不足になり、生活必需品の米や菜種油などまで値上がりして人々の生活は苦しくなりました。さらに日本と外国の金銀の交換比率が異なっていたことから、一時的に金が流出したことも、経済の混乱を大きくしました。一方で、輸入品を売りさばく江戸商人のほか、輸出用の生糸や茶を売る商人など、新しい経済の動きをいち早くとらえ、力をつける商人も現れました。

尊王攘夷の考え

開国と前後し、幕府の外交姿勢に反対する大名や武士、公家の間に、天皇を尊ぶ尊王論と、外国人を追い払おうとする攘夷論が結びついて、尊王攘夷の考えが広がりました。そして、アメリカなどの国々との貿易開始に反対する運動を行いました。これに対して井伊直弼は、幕府に反対した大名や公家など多くの人々を処罰し、吉田松陰らを処刑しました(安政の大獄)。反発した水戸藩(茨城県)などの元藩士は、1860年、直弼を江戸城の桜田門外で暗殺しました(桜田門外の変)。

| | |
|------|------|
| 8C | 縄文 |
| AD.1 | 弥生 |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | 古墳 |
| 6 | |
| 7 | 飛鳥 |
| 8 | 奈良 |
| 9 | |
| 10 | 平安 |
| 11 | |
| 12 | |
| 13 | 鎌倉 |
| 14 | 南北朝 |
| | 室町 |
| 15 | |
| 16 | 戦国 |
| 17 | 安土桃山 |
| 18 | 江戸 |
| 19 | |
| | 明治 |
| 20 | 大正 |
| | 昭和 |
| | 平成 |
| 21 | 令和 |



←1 長州藩の下関砲台(1864年)
この前年に長州藩は、下関の砲台から、海峡を通過する外国船に対して砲撃を行っていました。【オランダライデン大学図書館蔵】

なぜ多くの外国の兵士がいるのかな。



4 江戸幕府の滅亡

2節の問い 欧米諸国が来航するなかで、日本の社会はどのように変化したのだろうか。

学習課題 江戸幕府は、どのようにして倒れていったのだろうか。

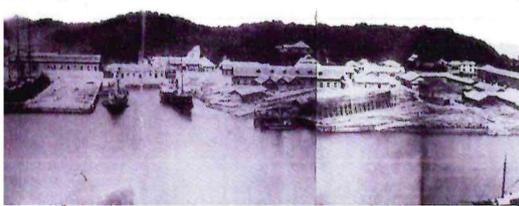
攘夷の失敗と 倒幕運動

桜田門外の変の後、幕府は、朝廷と手を結び協力することで権威の回復を目指す公武合体策をとり、天皇の妹を14代将軍徳川家茂の夫人に迎えました。

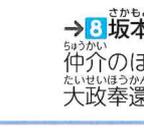
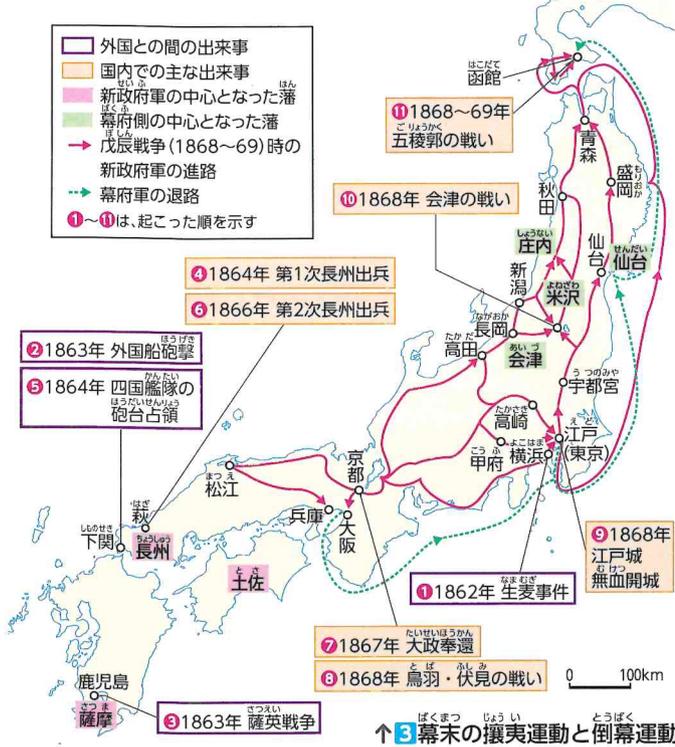
一方、尊王攘夷の考えをとる長州藩(山口県)は、1863年、関門海峡を通る外国船を砲撃しました。しかし、翌64年にイギリス・フランス・アメリカ・オランダ4か国の連合艦隊から報復攻撃を受けて敗北したことで、攘夷から開国に考えを変え始め、木戸孝允が藩の実権を握りました。また、そのころ幕府側の立場だった薩摩藩(鹿児島県)は、藩士によるイギリス人殺傷事件(生麦事件)の報復として、1863年にイギリス艦隊から鹿児島を砲撃されました(薩英戦争)。その結果、攘夷が難しいことを悟り、改革のため、下級武士から登用された西郷隆盛や大久保利通らを藩の中心としました。

その後、対立していた長州藩と薩摩藩は、土佐藩(高知県)の坂本龍馬らの仲立ちにより、1866年にひそかに同盟を結び(薩長同盟)、幕府を倒す(倒幕)運動へと動き出しました。長州藩の態度の変化を知った幕府は、同66年、長州藩を攻撃しましたが、失敗して幕府の威信がさらに低下しました。幕府の弱体化がはっきりとしていくなかで、さまざまな人々が次の国のあり方を真剣に考え、やがてそれが倒幕へとつながりました。

歴史プラス+ 幕府の近代化への対応
江戸幕府は開国後、積極的に海外の技術や学問を導入し、それらは明治時代に受け継がれていきました。オランダの指導による海軍伝習や、フランス軍事顧問による陸軍伝習は、近代的軍隊の原型となりました。さらに、横須賀製鉄所(造船所)などの工場は、新政府に引き継がれました。また、欧米の学問を学ぶ番書調所は、後の東京大学になりました。同じく東京大学の前身である種痘所で行われた種痘は、人々を天然痘から予防するという公衆衛生(→p.223)政策として、現代にも通じます。



↑2 横須賀製鉄所(明治初期)



←5 徳川慶喜(1837~1913) 幕府の近代化を進め、新しい政権でも力を発揮しようと考えました。

→6 勝海舟(1823~99) 幕府側として、江戸城明け渡しなどに関わりました。

←7 木戸孝允(1833~77) 藩の中心となつて、対立関係にあつた薩摩藩との同盟に踏み切り、倒幕を目指しました。

→8 坂本龍馬(1835~67) 薩長同盟の仲介のほか、国内の戦闘を回避するため、大政奉還の実現に力を尽くしました。



薩摩藩 西郷隆盛 →p.195
大久保利通 →p.195



↑4 幕末に活躍した人々 小地公

幕府の滅亡と新政府の誕生

こうした動きのなか、15代将軍徳川慶喜は、幕府だけで政治を行うことは難しくなつたと考え、

新しい政権のなかで幕府勢力の地位を確保しようとして、1867年、天皇に政権の返上を申し出ました(大政奉還)。慶喜の動きに対して、

5 薩摩藩の西郷隆盛・大久保利通や公家の岩倉具視らは、慶喜の勢力を政治の中心から追い出すため、天皇を中心とする新政府の成立を宣言しました(王政復古の大号令)。

旧幕府側は、慶喜の官職と領地を天皇に返すことを迫られたため反発し、1868年に鳥羽・伏見(京都府)で戦いを起こして、薩長を中心とする新政府軍との内戦となりました。新政府軍は江戸城を無血で開城させた後、会津(福島県)や函館(北海道)の五稜郭などの戦いでも、近代化が進んだ軍備を用いて勝利を収めました(戊辰戦争)。そして翌69年、新政府軍による国内の統一が完成しました。

民衆が願った「世直し」

開国後の政治や経済の混乱に対し、民衆は生活の安定を求めました。1866年には、幕府の長州藩に対する攻撃によって大阪周辺で米不足や物価上昇が生じ、打ち

こわしは関東にも及びました。全国各地で「世直し」を唱える農民たちの一揆も起こり、地主に土地の返還などを求めました。さらに翌67年には、「ええじゃないか」の騒ぎが各地で起こりました。



↑9 「ええじゃないか」の騒ぎの様子 伊勢神宮のお札が天から降ってきたといううわさをきっかけに、人々はお札を求めて「ええじゃないか」とかけ声を上げて、踊り歩きました。【「豊饒御蔭参之図」東京都 人間文化研究機構 国文学研究資料館蔵】

確認しよう 倒幕を進めた勢力とその中心となつた人物を、本文から書き出そう。

説明しよう 倒幕を進めた勢力の動きと、幕府の動きの両面から、倒幕にいたる経緯を説明しよう。

| | |
|----|--|
| 21 | 幕府 |
| 20 | 幕府の近代化 |
| 19 | 幕府の倒幕 |
| 18 | 幕府の近代化を進め、新しい政権でも力を発揮しようと考えました。 |
| 17 | 幕府側として、江戸城明け渡しなどに関わりました。 |
| 16 | 藩の中心となつて、対立関係にあつた薩摩藩との同盟に踏み切り、倒幕を目指しました。 |
| 15 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 14 | 土佐藩 土佐 |
| 13 | 幕末に活躍した人々 小地公 |
| 12 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 11 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 10 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 9 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 8 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 7 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 6 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 5 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 4 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 3 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 2 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |
| 1 | 薩摩藩 西郷隆盛 →p.195 大久保利通 →p.195 |